

アウルの春の花

アウルコート真駒内の中で、最も早く春の訪れを教えてくれるものは何でしょう？ それは、中庭の福寿草とクロッカスです。なかなか暖かくならなかった今年の春も、ふたつの花はいつもどおり4月中旬に花を咲かせてくれました。中庭の桜の木の下で小さな花

を付けるにもかかわらず、入居者様はよくご存じで、開花時期になると毎日チェックをし、かわいらしい花を楽しみにされている方も少なくないようです。

ふたつの花は、もともと入居者様がお持ちになった鉢植えだったといいます。中庭に植え替えて以来、毎年アウルに春を告げる季節の風物詩となりました。



スタッフ リレーエッセー

音楽の力

介護の仕事に携わるようになって多くの利用者様との出会いがありました。中でも笑顔が素敵で童謡が大好きだったAさんとの出会いは、私の心の中の宝物になっています。



介護職員 丸山恭子

あの日は、ちょうど桜が咲き始めるころでした。いつも明るいAさんが突然何かにとりつかれたように無表情で声かけにも全く反応がなく、まるで蠟人形のようになっていました。困り果てていると、ふと童謡が好きだったことを思い出し、Aさんのそばで何度も繰り返し歌い続けてみました。すると1時間くらい経ったころでしょうか、まるで氷が溶けていく様に明るい表情に戻り、なんと一緒に歌い出したのです。

あの時の感動は、今でも忘れられません。「音楽の力ってなんて素晴らしいのだろう」と…。今年も桜の花びらと一緒にAさんの優しい歌声がきこえてくるような気がします。

よろしくおねがいします

いやし課、増員。ここな(5歳)が着任しました



▲いやし課の「ここな」(左)と「リリコ」です

ことはのトピラ

持ち込み家電品

規制でしぼらず 個々の相談で万全に

高齢者施設でリコール対象の持ち込み家電品が火元となって起きた火災を受け、アウルでは入居者様の家電使用状況をお部屋に直接伺って確認。持ち込み自由の原則を変えずに、安全確保を図ります。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



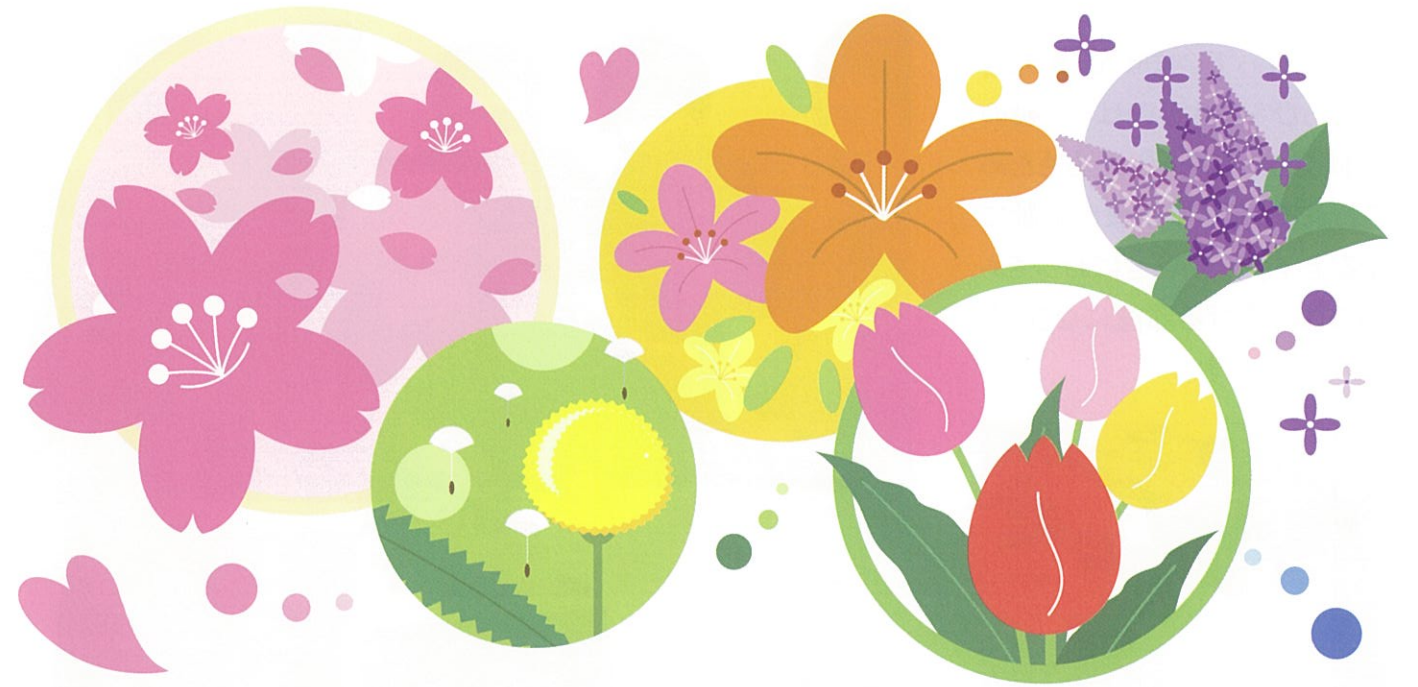
ふくろうの家

その27
2013年7月

だより

●発行/株式会社私の青い空

●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



『舟を編む』

代表取締役 武田 治信

昨年、2012年本屋大賞を受賞し、本欄でも取り上げた『舟を編む』。大変面白い本でしたので、再度ご紹介したいと思います。

辞書作りに没頭し、人生を辞書にかけた編集者たちの物語で、本名が「馬締(まじめ)」という青年が「真面目」というあだ名と勘違いされるところから話が始まります。冒頭では「官憲の犬」「犬死に」など、犬にまつわる言い回しを取り上げ、ひとつの言葉から広がる様々な意味について考えていく中で辞典に載る語釈について語られていきます。新語や若者言葉をどこまで載せるべきか。停年間近のベテラン編集者、日本語研究に人生を捧げる老学者等わずか4、5名ほどの、しかし魅力ある登場人物たちが、辞書に愛情をもち、言葉という絆で辞書の世界に没頭しながら、彼らの人生がやさしく編み上げられていく様に感銘を受けました。

辞書作りの仕事は、「辞書は言葉の海を渡る舟」「海を渡るにふさわしい舟を編む」ということばに凝縮されていました。そんな仕事に励む彼らは、どんなに優れた辞書でも時代遅れになるという定めを背負います。言葉は生き物だから変わらざるをえない。「大渡海」と名付けられた辞書を完成させたすぐあとから改訂作業を始め、辞書の編纂には終わりがありません。記憶とは言葉ということで、多くのものを言語化し、辞書作りに没頭する人たちによるものづくりの大変さ、なし得たときの充実感に心を動かされました。

映画にもなった本作は、生きていく中で仕事に対する取り組み方、心の持ち方を考えさせてくれるような本でした。

(今年の大賞「海賊と呼ばれた男」もとても面白かったです)

100歳の母の日 アウルもお祝い

高齢者施設では各月に誕生日を迎える方を合同でお祝いする月間行事が定着していますが、アウルコート真駒内では、原則として入居者様の誕生会を行っていません。年齢をおおっぴらにするのは、一般の方同様、お年を召した方もためられることが多く、また年齢による上下関係がときにおつきあいの幅を広げる邪魔になることもあるからです。



▲切り分けて食べた特製ケーキ



▲五目ちらし寿司の祝い膳

大集合のご家族 スライドに感動

当日はよしこさんのご家族が道内外から参集。会議室はお孫さんの飾り付けで、お祝いムード満点になりました。

ご家族での会食の前に開かれたお祝い会では、お借りした写真で作ったよしこさんの半生を振り返るスライドショーを映写。娘さんから「感動しました！」

そんなアウルで、今年5月12日(日)に入居者様であるよしこさんの誕生日をお祝いする会が催されました。きっかけは「お祝いの会食に会議室を借りたい」というご家族からのお申し



▼お孫さんお手製の壁飾りを背に家族写真をパチリ



スライドショーに使ったよしこさんの写真

とのお言葉をいただき、制作した職員も喜びでいっぱいでした。そのほか、アウルからよしこさんへ花束を贈呈。用意した特別オーダーの誕生日ケーキは出席者全員でおいしくいただきました。

「100歳の誕生日で、母の日。そんな素晴らしい記念日に立ち会える幸せをかみしめました」と武田施設長。アウルでの毎日を楽しく彩ることで、これか

出でした。「100歳は人生の特別な節目。ぜひ私たちにもお祝いさせてくださいとお願いしました」と武田施設長。ご家族のご承諾を得て、アウルのお祝い会が企画されました。

▼お孫さんお手製の壁飾りを背に家族写真をパチリ

らも入居者様のご長寿を支えていきたいと、職員一同思いを新たにしました。



▲誕生会の会場はレストラン

100歳の記念に、アウルで初の誕生会 ご長寿をみんなでお祝い



アウルの四季彩々日記

外出シーズン、今年もスタート

遅い春もなんのその、4月12日(金)から喫茶外出がスタートしました。好評の「もりもと」のほか、「茶房かのん」にも足を運び新店開拓も図りました。5月にはお花見外出を実施しました。中庭の桜は例年どおりの時期に満開になったものの、今年は全体的に開花が遅れぎみ。そのぶん、花々が一斉に咲き出すようすを楽しめました。



●3/18(月)

人気の新しい講座

アウルのさまざまな趣味講座に、3月からプリザーブドフラワーが仲間入り。花の彩りを長期間保つので仏花にも最適と、男女を問わず人気上昇中です。



●4/1(月)

6周年の開設記念日

来賓も招いた5周年の昨年とは趣向を変えて、今年の開業記念日は入居者様と職員のみでお祝い。昼食に祝い膳を楽しみ、5年勤続の職員1名を表彰しました。



●5/19(日)

春の恒例コンサート

昨春に続き、札幌交響楽団のチェリスト・荒木均さんとピアニストの山下由莉子さんが登場。クラシックの名曲とともに、荒木さんの面白トークも楽しみました。